

講演大会討論会について

本会では講演大会における討論会が活発で有意義なものとなるよう、会員各位から伺ったご意見を参考に種々検討を重ねてまいりましたが、昭和47年春季（第83）回講演大会より、従来の方法を改正、討論テーマ発表を1年前に行ない、討論講演の会誌掲載を現在より2カ月早めて、講演に対する討論者を公募することにいたしました。（下記スケジュールを参照のこと）、会員各位のご協力により本討論会がますます発展することを希望いたします。

| | 春季討論会 | 秋季討論会 |
|--|---------|----------|
| 1. 開催年月 | 昭和47年4月 | 昭和47年10月 |
| 2. 討論会テーマの公表ならびに募集（会誌にて） （テーマの主眼点も同時掲載） | 46年5月 | 46年11月 |
| 3. 講演申し込み締切 （450字程度アブストラクトを提出） | 46年8月 | 47年1月 |
| 4. 講演原稿締切 （本会所定のオフセット原稿用紙4枚以内） | 46年11月 | 47年5月 |
| 5. 講演テーマならび講演者の発表（会誌にて） | 47年1月 | 47年7月 |
| 6. 講演内容の会誌掲載 | 47年2月 | 47年8月 |
| 7. 討論質問の公募締切 | 47年3月 | 47年9月 |

注）来春第83回講演大会討論会に関しては、追つてお知らせいたします。

第12回西山記念技術講座開催のお知らせ

—— 最近の製鋼技術の進歩 ——

下記より第12回西山記念技術講座を開催いたしますので、多数ご来聴下さるようご案内いたします。

1. 期 日 昭和46年5月25日（火）、26日（水）
2. 会 場 農協ホール（千代田区大手町1-8-3 農協ビル Tel. 03-279-0311）
3. 演題および講師

| | | |
|--------------|---------------------|--------------|
| 第1日 5月25日（火） | | |
| 9:30～12:00 | 最近の製鋼技術の動向 | 新日本製鉄 石原 重利君 |
| 13:00～15:00 | 電気炉技術の最近の進歩 | 大同製鋼 野田 浩君 |
| 15:00～17:00 | 製鋼用耐火物 | 川崎炉材 入江日出男君 |
| 第2日 5月26日（水） | | |
| 9:30～12:00 | 連続鑄造一品質ならびに操業中の問題点一 | 日本鋼管 根本秀太郎君 |
| 13:00～15:30 | 減圧下における溶鋼処理 | 川崎製鉄 大井 浩君 |
4. 連絡先 日本鉄鋼協会技術部編集課 Tel. 03-279-6021（代）

訂 正

1. 本誌第3号（3月号）686 ページ掲載の書評欄の書名「日本古代製鉄史」を「日本製鉄史論」に訂正いたします。なお本書についてのお問い合わせは 広島市東千田町1丁目 広島大学文学部内 たたら研究会 TEL 0822-41-1221 内線 582, 572
2. 本誌第3号N42ページにて科学技術週間における行事案内をいたしました。が、「防衛庁技術研究本部第1研究所」の公開が取り止めとなりましたのでお知らせいたします。

第15回材料研究連合講演会講演募集

主催 日本学術会議材料研究連絡委員会 共催 日本鉄鋼協会, ほか
幹事学会 セメント協会, 土木学会, 日本化学会, 日本金属学会, 日本建築学会,
日本航空宇宙学会, 日本材料学会, 日本造船学会

開催日
会場
講演申込

昭和 46 年 9 月 8 日(水), 9 日(木)

日本学術会議 (東京都港区六本木 7 丁目 22 番 34 号・Tel. (03) 403-6291)

1. 参加学会所属の会員は当該学会を通じて申込み, 参加学会会員以外の方は直接幹事学会に申込むこと。
2. 講演内容はすでに発表されたものでもさしつかえないが, 最近の研究に属するものが望ましい。なお, 研究内容は材料の諸物性, 諸性質の測定および試験ならびに材料の適切な使用に関する応用研究を包含する。
なお, 今回も後記主題によるシンポジウムをも開催するので多数のご参加を期待する。
3. 講演時間は約 20 分 (討論を含む) の予定
4. 講演の採択などは材料研究連合講演会運営委員会に一任されたい。
5. 申込用紙は B 5 版とし, 次の事項を必ず記載すること。
 - a) 講演題目
 - b) 梗概約 200 字
 - c) 講演部門名 (下記講演部門参照のこと)
 - d) 講演者ならびに連名者の各氏名, 勤務先, 通信先, 学会員資格, 年令 (連名の場合は登壇者に○印をつけること)
 - e) 講演題目, 氏名, 勤務先には英文を付記すること。
 - f) スライド使用の有無 (大きさは 35 mm)
 - g) 欧文論文集 (付記参照) へ投稿希望の有無

申込締切
講演前刷

昭和 46 年 6 月 15 日 (火)

参加者のテキストとし, あわせて講演時間の短縮掛図などの節約のため, 講演者全部の講演前刷を作るので, 講演者は前刷原稿を必ず期日までに所属学会へ (参加学会会員外は申込んだ幹事学会へ) 提出すること。

- a) 講演前刷原稿提出締切期日 7 月 15 日 (木)
- b) 前刷原稿は所定の原稿用紙 2 枚以内に (図, 表, 写真を含めて邦文で約 2600 字) 明りように墨書し, なるべく余白をさけるように留意のこと。
- c) 所定原稿用紙は講演申込者に所属学会から送り, 所定用紙以外に書いた原稿は受け付けない。

講演部門

- I. 微視的構造 (Micro-structure of Materials)
- II. 材料の力学的性質と挙動 (Mechanical Properties and Behavior of Materials)
- III. 材料の物理的性質 (Physical properties of Materials)
- IV. 材料の化学的性質 (Chemical Properties of Materials)
- V. 構造物強度 (Strength of Structures)
- VI. 材料の加工と処理 (Working and Processing of Materials)
- VII. その他 (Special Problems)

<シンポジウム>

主題: 複合材料

複合材料としては繊維強化樹脂, 分散型合金, コンクリートその他材料の複合によつて得られる新しい材料領域に種々のものがあり, それらの物性の研究は極めて盛んであるが, 各専門分野に限られている傾向があり, 研究成果の交流は必ずしも十分とはいえないので, 再度同一主題のもとに更に実のある会合といたしたく計画したものである。広く航空宇宙, 土木, 建築, 化学, 金属, 機械, 造船, 電気など各界多数の研究者の講演, 討論を強く希望する次第である。本シンポジウムへの講演申込は, 講演部門欄にシンポジウムと明記し, 他の申込要領, 原稿作成などについては, 一般講演と同様である。

[付記]

1. 発表論文は Proceedings of the 15 th Japan Congress on Materials Research に載せ, 諸外国に頒布の予定である。
2. 本論文集に掲載される論文は今回発表されたもので, 欧文で未発表のものに限る。
3. 投稿希望者は別に送られる所定原稿用紙に執筆し, 講演会当日までに日本材料学会気付, 材料研究連合講演会論文集刊行会 (京都市左京区吉田泉殿町 1 の 101 Tel. (075) 761-5321. 〒 606) に提出すること。
4. 当日以降の提出原稿は受理しない。また, 不備な原稿は返却することがある。なお, 原稿は当日会場でも受付ける。

第3回結晶成長国内会議 (NCCG-3) 講演募集

主催 日本金属学会 協賛 日本鉄鋼協会

第3回結晶成長国内会議 (National Conference on Crystal Growth-3) を下記の要領で開催いたします。1974年の日本における国際会議も近づきましたので、この NCCG-3 へのご参加と講演ご応募を希望いたします。

記

1. 日時 1971年10月5日(火)、6日(水)
2. 場所 東京都千代田区平河町 日本都市センター 電話 265-8211
3. 内容
 - 1) 招待講演
 1. 氷の結晶成長 北大工 東 晃
 2. 融液よりの結晶成長 阪大産研 桐山 良一
 3. 金属ひげ結晶の表面拡散律速成長 東大工 橋口 隆吉
 4. 生物における結晶的構造の成長 名大工 大沢 文夫
 - 2) 一般講演 (1件 20分以内)
4. 一般講演の申込手続
 - 1) 申込期限: 1971年7月31日 申込受付後直ちに所定の予稿原稿用紙を著者に送付いたします。
 - 2) 申込先: 〒113 東京都文京区本郷 7-3-1 東大工学部冶金学科 橋口教授室 NCCG 係
 - 3) 申込方法
官製はがきに 1. 題目, 2. 要旨(プログラム中の位置を決めるための簡単な説明), 3. 著者の氏名と所属(登壇者に丸印), 4. 連絡先を明記すること。
5. 予稿原稿の提出
 - 1) 締切期日: 1971年8月31日
 - 2) 原稿提出先: 前記申込先と同じく東大工学部冶金学科橋口教授室 NCCG 係
 - 3) 予稿の長さ: 図, 写真を含み所定の原稿用紙(オフセット用) 1ページ以内
6. 参加方法
 - 1) 参加費: 600円 (講演予稿集代を含む) 当日会場でいただきます。
 - 2) 懇親会: 10月5日午後6時から開催 (会費その他当日会場掲示)
7. 会議の内容

NCCG の一般講演の研究内容は結晶の成長に関するものなら何でも結構です。金属その他の無機物結晶, 有機物結晶, 高分子結晶, 生物結晶などの成長に関する理論, 実験, 成長条件と成長した結晶の性質または二次構造との関係, 結晶成長の方法と技術, 工業的な結晶製造法などが一応の範囲ですが, この範囲を出ても結晶の成長を主題とする研究であれば差支えありません。

第35回塑性加工シンポジウム

主題: 精密打抜き加工技術について

主催 日本塑性加工学会 共催 日本機械学会 精機学会 協賛 日本鉄鋼協会, ほか4学協会

日時 昭和46年5月10日(月) 9:30~17:00

場所 日本都市センター (千代田区平河町 2-6) Tel (265) 8211

講演

1. 精密打抜きにおける工具条件
トヨタ 大西利美, ほか
 2. 精密打抜き型に対する 2, 3 の考察
日立製 大内康司, ほか
 3. 精密打抜き法の簡易型化
黒沢通信 湯本 良, ほか
 4. 打抜き品の寸法について
都立工業技術センター 田中益夫, ほか
 5. 精密打抜きにおける製品輪郭の影響
東大生研 中川威雄, ほか
 6. 時計部品の精密打抜き 精工舎 田中四郎
 7. 硬材におけるせん断特性について
日立製 木下素男, ほか
 8. 精密打抜きにおける工具寿命
ブラザー 浅見和也, ほか
 9. 自動車電装品の精密打抜き
日本電装 木村義信, ほか
 10. 自動車部品の精密打抜き
木田技研 三宅章二郎, ほか
 11. 対向ダイスせん断法の活用
静岡大 近藤一義
- テキスト 会員 (共催・協賛の学協会員を含む) 1冊 1000円 非会員 1冊 1500円
- 申込締切 昭和46年4月30日(金)
- 申込方法 ハガキ大の用紙に, 氏名, 通信先, 出欠の有無, テキスト冊数, 所属学協会名を明記し, 代金を添えなるべく現金書留でお申し込み下さい。
- 申込先 106 東京都港区六本木 5-2-1 島勝ビル3A 日本塑性加工学会

公開討論会「材料の未来像」

主催 窯業協会 協賛 日本化学会, 日本鉄鋼協会, 日本材料学会, 高分子学会, 電気化学協会

日時 昭和46年5月15日(土) 9:00~17:00

場所 窯業協会会議室 東京都新宿区百人町 3-334 (中央線「大久保」下車) 電話 03-362-5232

定員 40名 (先着順受付にて, 満員になり次第締切ります)

参加費 会員(本会会員含む) 1名 2,500円, その他の方 1名 3,000円
(テキスト代含む)

内容 (講師・演題)

| | |
|-------------------|--------------------|
| 野崎 健 (電子総研) | エネルギー開発のために要望される材料 |
| 渡辺 明次 (関東学院大建築学科) | 住宅設計の進歩のために要望される材料 |
| 中村 嘉弘 (東大航空宇宙技研) | 宇宙開発のために要望される材料 |
| 長 哲郎 (東大工業化学科) | プラスチックの未来像 |
| 島田 春夫 (新日本製鉄KK) | 金属の未来像 |
| 並河 洋 (電子総研) | 非晶質材料の未来像 |
| 柳田 博明 (東大工業化学科) | セラミックスの未来像 |

時間割 9:00~10:10 第1回講師間討論 13:30~14:40 第3回講師間討論
9:10~11:20 第2回講師間討論 14:40~17:00 全員参加 自由討論
11:20~12:00 参加者と講師による質疑応答

申込み ①氏名, ②勤務先(名称・所在地・電話), ③年令, ④専門を記載, 参加費を同封(整理上勝手ながら現金書留にて)して, 後記あて予約してください。

申込先・詳細問合せ先 〒160 東京都新宿区百人町 3-334 窯業協会企画委員会 電話 03-362-5232

第4回高温材料技術講習会

「最近と将来の窯炉についての問題点」

主催 窯業協会 共催 (御依頼)耐火物技術協会・同中国四国支部

協賛 (御依頼中)日本学術振興会第124委員会・日本鉄鋼協会・日本工業炉協会

日時 昭和44年6月2日(水)~4日(金)

場所 岡山県農業会館 岡山市磨屋町 電話 0862-24-3181

定員 100名 (先着順受付)

締切 4月30日(金)

受講料 会員(本会会員を含む) 8,000円 官公学校関係者 6,000円
(テキスト代含む) 学生 4,000円 前記以外 10,000円

内容

第1日 6/2(水)

| | | |
|----------------------|----------------|------|
| 9:10 原子力製鉄の動向および直接製鉄 | 新日本製鉄株式会社 | 瀬川 清 |
| 10:50 連続製鋼の進歩 | 科学技術庁金属材料技術研究所 | 吉松 史 |
| 13:20 製鋼アーク炉の高効率操業 | 大同製鋼株式会社 | 野田 浩 |
| 15:00 最近の製鉄用各種窯炉の問題点 | 新日本製鉄株式会社 | 大庭 宏 |

第2日 6/2(木)

| | | | |
|-------------------------|-----------|------|---|
| 9:00 連続鑄造と特殊鑄造の発達とその問題点 | 株式会社神戸製鋼所 | 中島 弘 | 明 |
| 10:40 誘導電気炉の最近の傾向 | 三菱重工業株式会社 | 矢作 恭 | 蔵 |
| 13:30 製鋼製錬の化学と非金属介在物 | 株式会社神戸製鋼所 | 成田 貴 | 一 |
| 15:10 非鉄金属製錬の展望 | 古河鋳業株式会社 | 村尾 頭 | 三 |

第3日 6/4(金)

| | | | |
|-------------------------------|-----------|------|---|
| 9:00 セメント製造用マンモスおよびSPキルン | 徳山曹達株式会社 | 塩谷 陽 | 一 |
| 10:40 ガラス製造の新技术の問題点 | 大阪工業技術試験所 | 上野 昭 | 力 |
| 13:10 窯炉設計上の技術と問題点 | 新日本製鉄株式会社 | 南 木 | 三 |
| 14:50 原子力開発の動向と高温材料および窯炉との関連性 | 東京工業大学 | 鈴木 弘 | 茂 |

申込方法 適宜な用紙に①氏名 ②所属学協会名 ③勤務先(くわしく) ④自宅 ⑤専門 ⑥年令
⑦送金案内を明記し, 受講料を同封または前送のうえ予約して下さい。

申込先と送金方法

- ① 〒160 東京都新宿区百人町 3-334 窯業協会高温材料部会
[送金:整理上勝手ながら, 小切手, 小為替, 現金] 電話 03-362-5232
- ② 〒705 岡山県和気郡備前町東片上 窯業協会中国四国支部 [送金:整理上現金]
電話 08696-4-3341